

学力向上に向けた取組

函館市立千代ヶ岱小学校

1 課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 知識・技能を使って問題を解決する活用力の育成

2 課題解決の具体策

- ①わかる授業づくりのための交流
- ②校内研修の充実

3 取組の概要

①について

(1) 学校改善プランに基づいた年2回の指導（実践）内容の交流

- ①繰り返し学習や補充的な学習の工夫。
- ②個別指導やグループ別指導など、学習内容の習熟の程度に応じた指導。
- ③既習の知識・技能を効果的に活用する学習と知識・技能を活用して課題の解決方策を考えることができる体験活動の工夫。
- ④言語活動の充実を図る取組の工夫。
- ⑤学校図書館の活用と朝読書や朝自習の工夫。
- ⑥学ぶ目的を明確にし、学ぶことの大切さを理解させる指導の充実。
- ⑦望ましい学習習慣の定着と家庭との連携。

②について

(1) 基礎基本を確実に身につけ、それを活用する力を育てる授業改善をめざした校内研修
(2) 全学級公開授業の実施

★授業実践例 ※学校だよりより抜粋



推敲場面の様子

◆◆今年度の職員研修について◆◆

今年度は、進んで表現できる子どもの育成～国語科における「書くこと」領域の指導を通して～をテーマに、子どもたちが苦手意識をもっている「書くこと」に対して、伝える喜びを味わいながら表現できる子を育てるために研修を進めてきました。

授業研究会では、題材の集め方やワークシートをもとにした文章構成の仕方、作品の交流によるお互いのよさの学び合いなど、学年の子どもたちの実態に合わせた言語活動のあり方について研究が行われました。特に、3年1組、4年1組では、全職員が参加して校内特設研究授業を行いました。苦心しながらも熱心に学習する子どもたちの姿から、意欲の高まりを感じることができました。



交流場面の様子

4 成果と課題

①について

○年2回の学級経営交流会の場で授業づくりにかかわる実践交流を行うことで、学校改善プランを検証することができた。各担任の個性を生かした実践を共有し、授業改善に役立てることができた。

●家庭学習の手引きを全家庭に配布し、家庭学習の啓発を行ったが、教育アンケートの結果では家庭学習が十分身につけていないという家庭もあった。効果的な学習の方法を示し、家庭との連携を図りながら学習習慣を身につけさせていきたい。

②について

○「書くこと」に関する「交流」と「推敲」の力を伸ばすための授業づくりを行った。「交流」は、「推敲」に役立てるための言語活動として押さえ、「交流」の観点を提示し、ワークシートや付箋・シールなどを活用し対話していくことで、積極的に考えを伝え合う場・学び合いの場となった。また、「交流」の場で、相手のよさを認め合うことで、言語感覚や言葉にたいする感性が高められ、書くことの楽しさも実感させることができた。

●1単元1領域の指導を基本と考え、単元内の複数の教材のつながりを明確にした指導計画を作成する必要がある。各学年で身につけさせるべき基本的な言語事項を、国語科のみならず様々な教育活動の場で繰り返し指導していく必要がある。

